

# 朝日新聞

2017年(平成29年)  
8月27日  
日曜日

天気	6	9	12	15	18	21(晴)
東京	☁	☁	☁	☁	☁	☁
横浜	☁	☁	☁	☁	☁	☁
千葉	☁	☁	☁	☁	☁	☁
さいたま	☁	☁	☁	☁	☁	☁
札幌	☁	☁	☁	☁	☁	☁
仙台	☁	☁	☁	☁	☁	☁
名古屋	☁	☁	☁	☁	☁	☁
大阪	☁	☁	☁	☁	☁	☁
福岡	☁	☁	☁	☁	☁	☁

朝日新聞東京本社  
〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.as

令和3年11月9日  
子どもの権利に関する条例検討委員会  
資料12-4

## 次代へ渡し損ねたバトン

編集委員 真鍋 弘樹

その額、1千万円。「若者議会」と名付けて一昨年後、すぐに仲間を募って動き始めた。

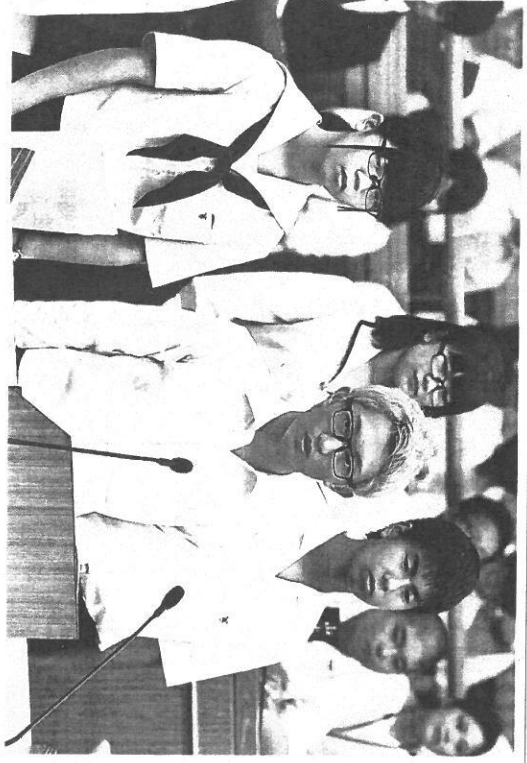
「一ヶ市を捉えざる。民間研究機関が発表した「消滅可能性都市」に愛知県内の市にある図書館の一室に、大学生だった新城市の竹下修平(28)はいた。平成が始まった翌年の1990年生

まれだ。女子高校生が座っている。金夢の青年やセーラー服の女子高校生が座っている。それに向き合う市長や幹部たちの表情は真剣である。愛知県新城市で22日に集まった「議員」たちは、16歳から29歳を対象に公募した若者25人だ。

未成年による模擬議会のような試みは決して珍しくない。だが、この市では実際に市の予算、つまり税金の使い道を決めさせる。



平成とは  
シロノグロ



自分たちで提案した事業を市幹部に説明する若者議員のメンバー(22日、愛知県新城市、戸村登撮影)

の世になって、日本は若い世代に「社会の持続可能性」というバトンを渡し損ねているのではないか。

動きも生まれている。「おはたが町長ならどうする?」。21日夜、東京駅近くの貸会議室で、その題

主催したのは「ユース・モチライナー推進機構」。一

わっていた「平成世代」の

物心ついた頃、昭和が終

けた。

から聞こえる。

昨年の統一地方選で誕生した30歳以下の地方議員を中

心に、党派を超えて緩やか

に近づかっている。

「具体的な問題は違っ

ても、「このまじや、や

る今、若い世代の声が各地

から聞こえる。

2面に続く